資料 3－1

2050 木曽地域の未来をみんなで描こう。

つながる
支え合う
ずっと好きでいられる
木曽の未来へ

ドローンで
いつでもどこでも
届く暮らし

こんな
木曽にしたい！
・住み続けたい
・帰ってきたい
・関わり続けたい

リニアで
広がるつながり

豊かな自然と
暮らす

地域で働き
学び続けられる

主催　木曽町、上松町、南木曽町、木祖村、王滝村、大桑村
木曽広域連合、木曽郡町村会

２０５０ 木曽地域の未来を みんなで描こう

本日の趣旨

人口や医療の状況や先端技術分野の進展など、将来変化を共有して

「木曽地域が、未来にどんな地域になっているとよいか」をみんなでイメージ・妄想します！

イメージは今後の地域づくりの参考につなげます！

注 意 点

これからお示しする将来予測は、主に国が示す「地域の未来予測」による推計結果の一例です。

将来予測には様々な方法があり、結果も一つではありません。

地域の未来は決まっているものではなく、私たちの行動によって変えることができます。

「木曽地域」ってどんなところ？

木曽郡６町村

木祖村



お六櫛

木曽町



山村代官屋敷

王滝村



御嶽山

上松町



赤沢自然休養林

大桑村



阿寺渓谷

南木曽町



妻籠宿

基本データ

人　口	22,377人	(1.1%)
世帯数	10,392世帯	(1.2%)
面　積	1,546.15km²	(11.4%)

長野県毎月人口異動調査：令和８年４月１日現在



御嶽山国定公園
Ontakesan Quasi-National Park

AIに訊いた木曽地域の魅力　５選

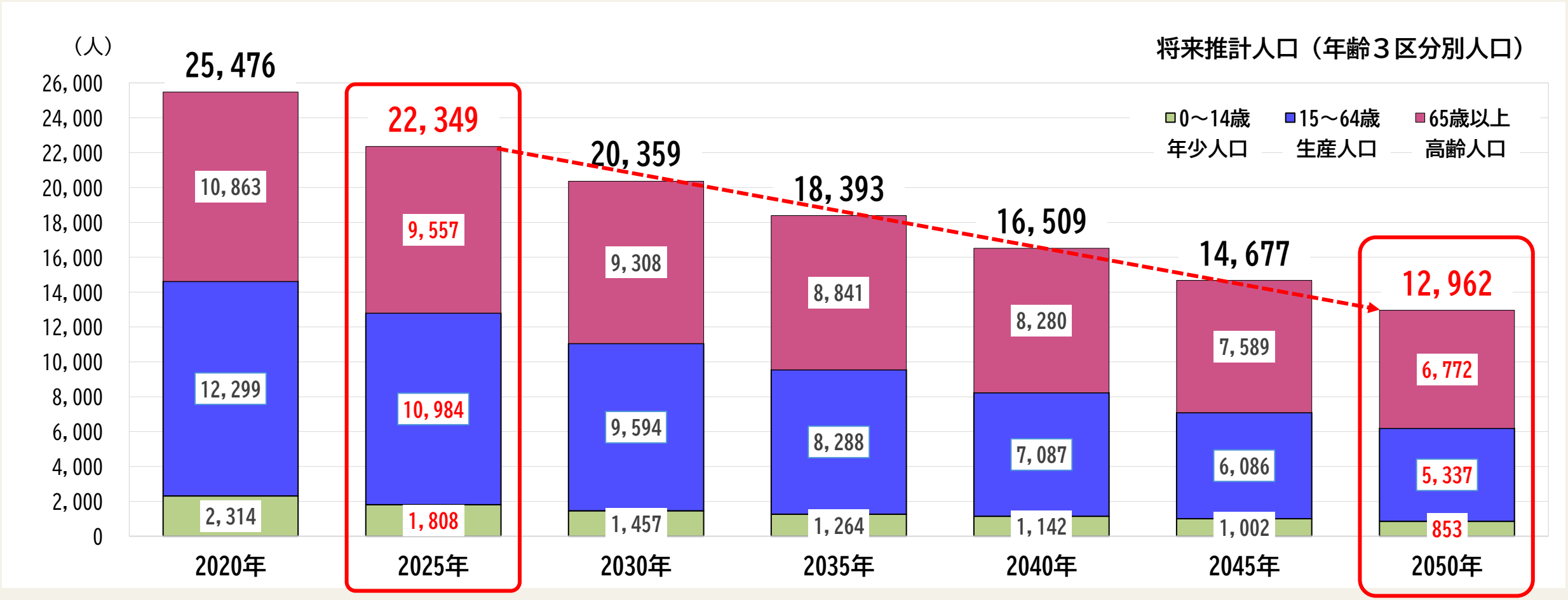
① 日本有数の森林と清らかな水
② 雄大な山岳景観
③ 歴史と文化が息づくまち並み
④ 人と人とのつながり
⑤ 自然と共にある暮らし

木曽地域は、日本の真ん中、長野県の南西部に位置する
「豊かな自然」　と　「歴史・文化」が調和した魅力的な地域です。

２０５０ 木曽地域の人口は？（推計）

2025年と比べると、　総人口は５８％　生産人口は４９％　年少人口は４７％　に減少

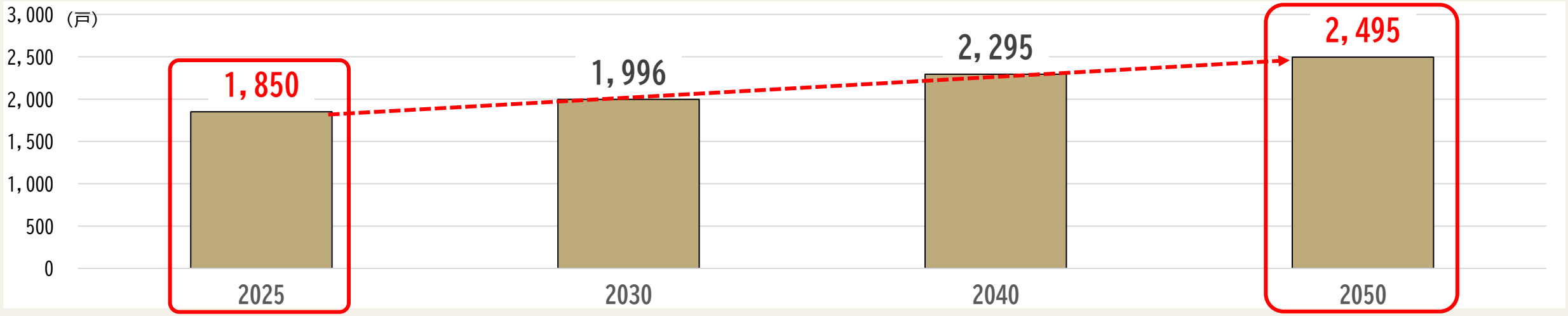
その影響は・・・



２０５０　木曽地域の人口減少の影響は？　①

生産人口	５１％減	10,984人	→ 5,337人	木曽地域の働き世代が半分に
年少人口	５３％減	1,808人	→ 853人	小学校や中学校のクラスの人数が半分に？

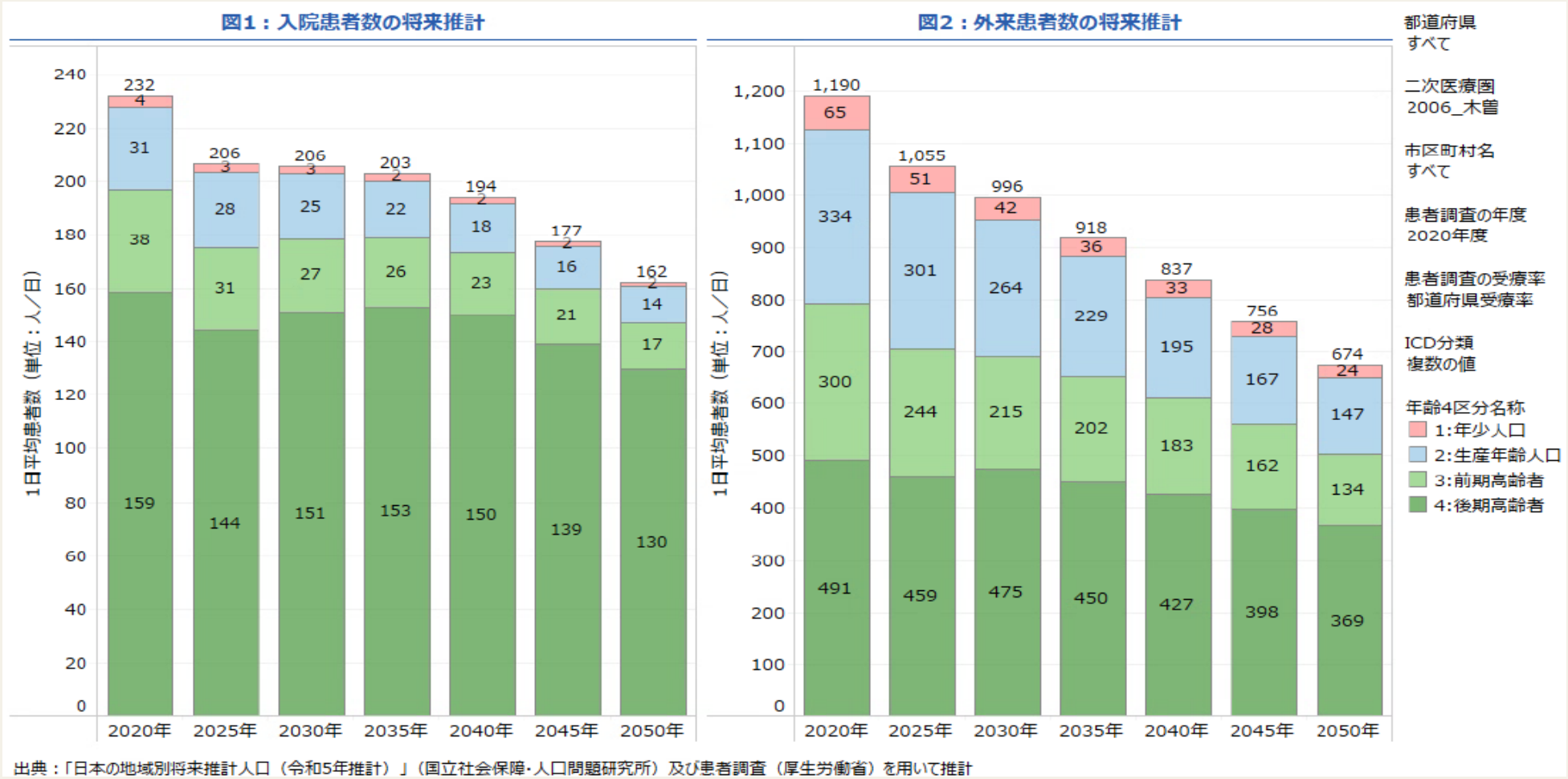
空き家数の増加



空き家が約３５％増加　→
- ▶ 火事などの防災や窃盗などの防犯上のリスクの増大
- ▶ 景観・生活環境の悪化や地域コミュニティの衰退などの懸念

２０５０　木曽地域の人口減少の影響は？　②

医療の需要



出典：「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）及び患者調査（厚生労働省）を用いて推計

入院・外来患者数ともに2020年をピークに減少で推移していく見込み

医療は専門性が高いため、保健福祉事務所、木曽病院から地域の現状を含めて説明します。

２０５０　木曽地域の社会インフラは？

町村役場

RC造（鉄筋コンクリート造）、W造（木造）、S造（鉄骨造）、SRC造（鉄骨鉄筋コンクリート造）

町村名	施設名称	建築年 西暦	耐用年数	経過年数（2050年）	延床面積（㎡）	構造
木曽町	役場庁舎	2021	24	29	2,560	W造
	日義支所	2013	38	37	547	S造
	開田支所	2025	24	25	463	W造
	三岳支所	1977	50	73	1,998	RC造
上松町	役場庁舎	2021	50	29	2,320	W造+RC造
南木曽町	役場庁舎	1982	50	68	2,133	SRC造
木祖村	役場庁舎	1984	82	66	2,065	SRC造
王滝村	役場庁舎	1953	24	97	842	W造
	東庁舎	1969	24	81	339	W造
大桑村	役場庁舎	2022	50	28	3,606	RC造

上水道施設・浄水場

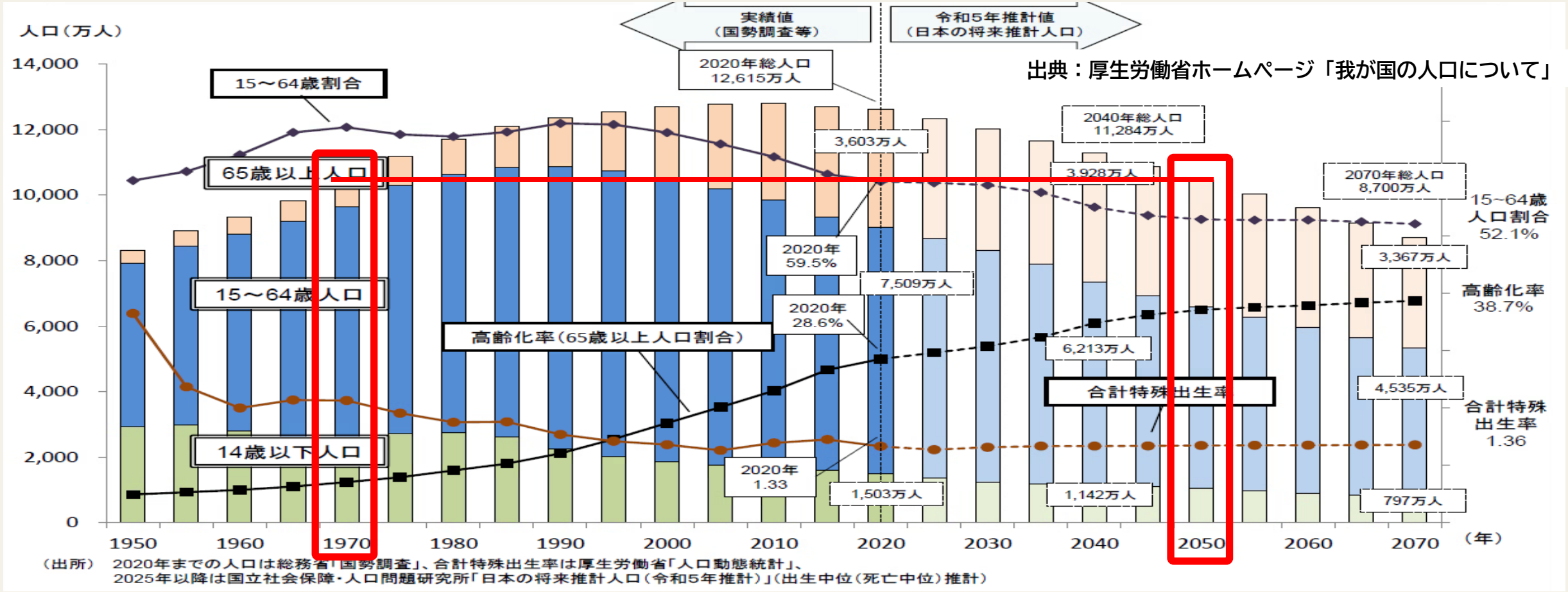
町村名	施設名称	建築年 西暦	経過年数（2050年）	建屋面積（㎡）
木曽町	幸沢川浄水場	2022	28	383
	伊谷配水池	2021	29	196
	本洞浄水場	2010	40	108
	三尾浄水場	1991	59	175
上松町	荒田浄水場	2008	42	1,400
	荻原浄水場	2005	45	650
	芦島大木浄水場	1987	63	—
	焼笹巾ノ津浄水場	1996	54	—
	才児浄水場	1997	53	—
	高倉浄水場	1988	62	—
	台浄水場	2012	38	—
	野尻徳原浄水場	1995	55	—
	諸原浄水場	1982	68	—
	西中浄水場	1992	58	—
	吉野配水池	2024	26	—

市町村名	施設名称	建築年 西暦	経過年数（2050年）	建屋面積（㎡）
南木曽町	三留野浄水場	1986	64	264
	大山高区浄水場	1993	57	373
	田立中区浄水場	2005	45	294
	塚野浄水場	2001	49	124
木祖村	薮原浄水場	2022	28	355
	小木曽浄水場	1980	70	308
	しらかば平浄水場	2007	43	—
王滝村	溝口浄水場	1986	64	—
大桑村	東部浄水場	2006	44	215
	野尻浄水場	1988	62	401
	小川浄水場	1992	58	3
	上郷浄水場	1996	54	4
	伊奈川浄水場	1986	64	12

町村役場は多くが耐用年数を経過または間近、上水道施設等も設置から50年経過または間近

維持管理に多額の経費、特に水道料金が高騰　► 人口規模や需要に見合う施設への切替も？

日本の人口の推移　2050年と同程度はいつ？



日本の総人口の推移を単純に年代で比較した場合、

2050年の総人口は1970年（現在56歳の方が生まれた年）と同程度

今から25年前の長野県（2001年）はどうだった？

出典：長野県「毎月人口異動調査」

長野県の総人口

2001年10月　222万208人　→　2026年8月　195万7,320人　約26万人減（▲12%）

木曽郡の総人口 ※

※旧山口村を除く

2001年10月　4万278人　→　2026年8月　2万2,226人　約1万8千人減（▲45%）

2001年の主なできごと

政治・行政　小泉内閣発足、省庁再編（1府22省庁→1府12省庁）
事件・不安　米同時多発テロ（9.11）、狂牛病（BSE）

エンタメ　ＵＳＪ・ＴＤＳの開業、「千と千尋の神隠し」公開
社会変革　一般家庭へのインターネットの普及加速（ＡＤＳＬ）

2001年と2026年の暮らしの比較

ツール・環境	2001年	2026年
モバイルデバイス	ガラケーとメール	スマホとLINE
音楽メディア	CD・MD	音楽サブスク
地図	紙の地図	Googleマップ
動画メディア	DVDレンタル	動画配信サービス
ネット環境	家庭のパソコン	いつでもネット
デジタル環境	IT革命(ネット普及)	AI活用

2001年の人たちは、
現在のＡＩやスマホ中心の暮らし
を想像していたでしょうか？

現在、目に見える社会の変化（例示）

インバウンドの急増

歴史・文化等に関心を持つ、欧米の外国人観光客が急増



一石栃立場茶屋

- ► 観光消費額の増加による経済効果
- ► 古民家等を改修した宿泊施設の増加
- ► 知名度の向上、歴史・文化の再評価
- ► オーバーツーリズム

木曽川右岸道路の整備

木曽川右岸道路南部ルートの整備が進行中



木曽川右岸道路の整備状況（木曽建設事務所ホームページ抜粋）

- ► 渋滞時における国道19号の代替道路
- ► 防災力強化（災害時における交通確保）
- ► 交通網の多様化による利便性の向上

自動運転バスの導入試験

塩尻市で一般公道で運転手のいない自動運転バスの実証実験



自動運転バス（塩尻市ホームページ）

- ► 人口減少下における運転手の確保対策
- ► 安定的な利便性の高い公共交通の確保
- ► 渋滞の緩和（自家用車から公共交通へ）
- ► 交通量減によるカーボンニュートラル

ＡＩの普及と活用

企業や個人レベルで生成ＡＩの活用が常識になりつつある



Microsoft Copilotで2026年10月現在の「AIの普及と活用」を画像生成

- ► 企業の生産性の向上、仕事の変化
- ► チャットボットなど人手不足対策
- ► ネットの「検索」からAIとの「対話」へ
- ► 生成AIで誰でもコンテンツを制作

リニア中央新幹線の開業

リニア中央新幹線（品川駅～名古屋駅）開業区間

つながる、未来へ。
－超高速で、もっと近い日本に－

品川駅 ～ 名古屋駅
約 **286 km**
最速 約 **40分** で結ばれます。
※所要時間は想定値です。

※イラストはイメージであり、実際の位置関係等とは異なります。



岐阜県駅起点	(14分)	(11分)	(11分)	(29分)	(48分)	(56分)	（ ）：県内駅からの累計時間、駅名は仮称
長野県駅起点	(25分)			(18分)	(37分)	(45分)	
名古屋	名古屋駅	14分	岐阜県駅 - 中津川市 -	11分	18分	19分	8分	品川駅
上松町 78分								上松町 139分（△約85分）
南木曽町 52分								南木曽町 113分（△約100分）
木曽町 73分								木曽町 134分（△約85分）
木祖村 124分								木祖村 136分（△約80分）車使用） 185分（△約30分）
王滝村 136分								王滝村 197分（△約50分）
大桑村 71分								大桑村 132分（△約110分）

※ 長野県駅を含む全ての駅に停車する列車（各駅停車タイプ）を想定し、県が推計。

凡例
- リニア中央新幹線（今回の開業区間：品川～名古屋）
- 東海道新幹線（在来線）
- リニア中央新幹線の駅（駅名は一部仮称です）
- 主な都市

移動時間の変化（東京～名古屋）

現在（東海道新幹線）
約1時間30分



リニア開業後
約40分



▸リニア開業による主な変化（木曽地域にも広がる効果）

観光
首都圏・中京圏からの来訪者が増え、木曽路や御嶽山などの

交流・通勤
人の移動圏が広がり、ビジネス機会や文化の交流が促進

地域経済
企業立地や新たなビジネスのチャンスが拡大

暮らし
移住や二地域居住など、新しいライフスタイル

先端技術を活用した木曽地域のイメージ例

AI・ロボット・リニアがつくる 2050年の新しい暮らし

テクノロジーで、もっと便利に、もっとつながる。自然と人が輝く木曽の未来へ

伝統を未来へ
人と自然がつながる
スマートな木曽

AI　人の知恵を広げ、みんなの暮らしを支える

AIは、データをもとに考え、
人の判断や作業をサポートする技術です。

例えば…

教育



一人ひとりに合わせた
学習支援で、どこでも質の高い教育を

医療・健康



AIが診断をサポート
遠隔医療で専門医の診察を受けられる

行政・生活サービス



AIが問い合わせに対応
手続きがもっと簡単・便利に

仕事・産業



データ分析で農業・林業・観光など
地域の産業を強化

AIは、人がより創造的な仕事に集中できる
社会をつくります

ロボット　人手不足を補い、暮らしを支えるパートナー

ロボットは、決められた作業を自動で行い、
人の負担を減らす技術です。

例えば…

生活・移動



自動運転バスで
誰もが安心して移動できる

物流・買い物



ドローンや配送ロボットで
必要なものがすぐ届く

介護・福祉



介護ロボットが
見守りや移動をサポート

農業・林業・建設



ロボットが危険な作業や重労働を担い
安全で持続可能な地域づくりに

ロボットと人が協力し、少ない人数でも
暮らしや産業を維持できる社会へ

リニア　人・モノ・情報がつながり、地域の可能性を広げる

リニア中央新幹線は、最高速度505km/hで
東京・名古屋・大阪を結ぶ、次世代の高速鉄道です。

例えば…

移動時間の大幅短縮



ビジネス・働き方



木曽に住みながら都市で働く
新しいライフスタイルが可能に

観光・交流の拡大



国内外から多くの人が訪れ
地域の魅力が広がる

新たな産業・投資



企業や研究機関との連携が進み
地域に新しい産業や雇用が生まれる

リニアで、木曽は「遠い地域」から
「つながる地域」へ



＼ 未来を、みんなで描こう ／

あなたは、2050年の木曽地域をどう描きますか？

今の木曽から、
未来の木曽へ

人口減少、医療、AI・ロボット、リニア開業、インバウンドの増加…
これから起こるさまざまな変化をヒントに、
未来の木曽地域をみんなでイメージ・妄想してみましょう。

人口・暮らし
医療・福祉
AI・ロボット
リニア・交通
観光・交流
仕事・産業
自然・環境

豊かな自然と、
人のつながりが続く
木曽の未来を、
ともに考えよう。

木曽の、
これからを一緒に。

ワークショップ

正解はありません。
未来を自由に想像し、みんなで語り合いましょう。